



しろしたこうさく

城下広作 県政報告誌

県民の身近な代弁者
熊本県議員
熊本市北区選出
熊本県庁
〒862-8570
熊本市水前寺6-18-1
Tel.096-333-2645
Fax.096-385-9767



県民の身近な代弁者

2013年 10月発行

第 58 号

ご挨拶



仲秋の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

さて、9月定例県議会も9月12日から10月4日まで(23日間)の日程で行われました。特に、今回の議会で論議された主な案件は、「県子ども子育て支援会議」の設置条例、県南振

興策「フードバレー構想」推進に向けた「アグリビジネスセンター」新設に関する設計費、宇城市の県松橋収蔵庫敷地に多目的広場を整備する実施設計費等で、補正額は約53億を上回る規模となりました。

また、水俣市で行われた「水銀条約外交会議」や天皇皇后両殿下をお迎え、行われた「全国豊かな海づくり大会」等、重要な会議が相次いで熊本県で行われたことを喜びとし、この機会を、熊本の知名度アップの時と捉え、私も頑張つてまいります。

平成25年10月吉日

県議会議員(公明党) 城下 広作

9月議会、交差交通及び新幹線活用対策特別委員会での主な発言

この委員会は、県民の足の利便性をどの様な整備で高めていくか、また、県の観光振興や誘致企業の推進等にどう繋げていくか論議しています。特に空の玄関、熊本空港の整備や運航のあり方や陸の玄関、熊本駅周辺整備のあり方は、重要なポイントとなります。そうした中で、駅周辺整備計画で、熊本市の考え方に駅内に市電の駅乗り入れ計画があると聞き、安全性の面から疑問を投げかけました。駅前広場には安全第一が求められると考えます。

9月議会、建設常任委員会での主な発言

今回の委員会では、特に、新熊本県建設産業振興プラン・アクションプログラム(後期)素案の概要について説明を受け、それに伴う各委員の意見の吸い上げ、見直し等の必要性を論じました。そうした中で、私が意見を述べたのは、過日、建設業を下支えている技能者(建設大工組合、とび土工組合、鉄筋加工組合)の皆様の要望を受けた、元請のダンピング受注による価格にしわ寄せと、技術者確保、若手育成の厳しい現状の打開策の取り組みを進めるよう発言した。

9月議会、県議会議員の選挙区等検討委員会での主な発言

2015年(平成27年)4月実施予定の統一選挙を踏まえ、今、国会で県議会議員選挙の選挙区制度見直しの論議が行われており審議の行方を見守っています。今回の改正のポイントは基本単位を従来の市郡から市町村に変更する内容です。この改正案が国会で通ると、従来の1人区の見直しや広域の選挙区の誕生、政令市の熊本市においては、本来5選挙区ごとに実施される予定が、最低2以上の各区との合区が可能になります。私は、かねてから、1人区の解消、多様な意見が吸い上げられる広域選挙区の誕生が望ましいと発言してきました。法案の行方をも守りながら、今後も、この様な考え方を中心に積極的に発言して参ります。

「城下広作」奮闘記…知恵は現場に!

長崎県の、長崎～上海間定期便就航問題と海砂採集の調査

23年11月議会で長崎県の長崎～上海間定期便就航に伴う我が県への観光客の誘致について質問した経緯から、9月2日、その後の実態調査を行ってきました。発表当初から話題を集めていただけに大変期待をしていましたが、長崎県の担当職員の説明は大変厳しいもので、運用開始わずかで運航休止が決まり、現在は船舶の保有も無いということでした。歴史のある長崎と中国の上海を結ぶ航路、長崎観光の増加で横軸にある熊本の観光誘致にも大きく関わると期待していただけに、定期就航が叶わなかったことは、残念と言わざるを得ません。原因としては外交問題を始め様々な課題があるようですが、やはり経済や観光の発展は両国に限らず友好関係が保たれなければ進まないようです。また、10月15日にも長崎県庁を訪問、今回は今話題になっている海砂採集の長崎県の取り組みを伺ってきました。全国でも有数の漁業県、海砂採集による魚貝類の影響について県の考えを伺ってきました。本県の取り組みと併せて今後の論議に役立てて参ります。



使用済み金属類営業に関する条例について岐阜県に調査

平成25年10月1日から施工される、「岐阜県使用済み金属類営業に関する条例」について、制定に至るまでの過程を岐阜県警察に調査に行きました。調査する発端は、清掃事業者の総会に参加し、収集運搬の業務に関して一部で現行法の規制では、盗品の流通防止法が不十分であり、また、0円回収の宣伝で空地を利用し電化製品等を回収する事業について、どのような対応で臨まれるのか調査して参りました。必要とあれば本県での条例制定も考えて参りたいと思います。



「水銀に関する水俣条約」外交会議開会式典に参加

10月9日、水俣条約外交会議の開会記念式典が水俣市文化会館で行われました。私も同僚の県議と江田衆議院議員と一緒に参加しました。公害の原点といわれている水俣病の発祥地で行われる外交会議の意義を肝に銘じ、二度とこの様な不幸な出来事を起こさないとの深い決意で、環境破壊に繋がるすべての問題に全力で取り組んで参りたいと決意しています。記念式典の前に「水俣病慰霊の碑」に献花をさせて頂き、犠牲者の追悼を行いました。



★裏面もご覧ください!!

●ホットライン(お気軽にご相談ください)

県議会/096(333)2645・FAX096(385)9767・携帯電話/090-8661-7722

●ホームページ <http://kumamoto-komei.net/shiroshita/>

●メール shiroshita@kumamoto-komei.net

下請建設団体が県に要望!! 活発な意見交換

建設業団体の現場の声を聴きました。

10月22日、県庁議会棟内で、建設業団体の3団体(県営工業組合連合会、県鉄筋工事業協同組合、県建設大工工事協同組合熊友会)の代表者が集い、県土木部長あてに要望書が手渡されました。この3団体とは、要望書を手渡す前に数回お会いし、各団体が抱える諸問題をじっくり聞く事ができ、自分自身のイメージと多く気かけ離れている点など、あらゆる角度から勉強になりました。特に、3団体の代表が共通して訴えられた、「ダンピング受注の防止、社会保険未加入の対策の促進。技術者の高齢化・後継者不足。低賃金改善・休日の保障。」など、どの課題も団体の存続には待ったなしで、今後の取り組みが急がれる問題です。私自身も建設常任委員会に所属する立場から、委員会を通して問題解決に向け、積極的に発言して参る所存です。災害の多い我が国、いざとなったら一番頼りにする建設技術や土木技術。日頃の支援が行き届いていなければ、災害時に人命や復旧に大きく影響します。誰人も、このことを肝に銘じなければならないと思えてなりません。

建設業団体の代表から船原土木部長に陳情



各団体役員との意見交換会



熊本で「全国豊かな海づくり大会」開催!!

一有明海・八代海の再生に向け頑張りますー

天皇、皇后両陛下 ご来熊

「第33回全国豊かな海づくり大会(くまもと)」が26日、開幕した。大会式典などに臨席するため、天皇、皇后両陛下は同日午後零時半ごろ、全日空の特別機で熊本空港に着陸された。蒲島郁夫知事、藤川隆夫県議会議長らが出迎えた。

14年ぶり

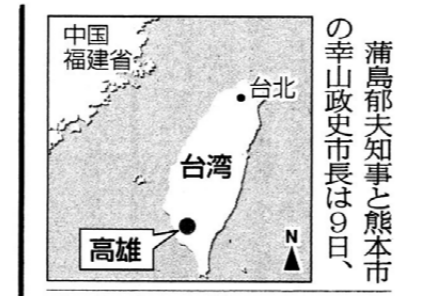
両陛下の来熊は、即位前を含め6回目。1999年の「くまもと未来空港」以来、14年ぶりとなる。空港ビル前では、県民ら約1300人が小旗を振って歓迎した。両陛下は合志市の県農業研究センターで蒲島知事から県勢概要の説明を受けられ、続いて同市の国立ハンセン病療養所菊池恵楓園を訪問。酒本喜與志園長から施設の概要を聞き、納骨堂に供花して入所者と懇談される。同日夜は宿泊先となる熊本市のホテル日航熊本で、大会会長の伊吹文明衆議院議長ら大会関係者約300人が出席する歓迎レセプションに臨まれる。

大会は27日午前、同市の県立劇場で式典、午後から水俣市の水俣湾埋め立て地「エコパーク水俣」、熊本港、牛深漁港に会場を移し稚魚などを放流する。両陛下は式典後、水俣会場に移動、市立水俣病資料館で水俣病の教訓を伝える語り部との懇談にも臨まれる。28日は熊本城本丸御殿などを視察後、熊本空港から離熊される。(亀井宏二)

全国海づくり大会開幕

県と熊本市、覚書に調印

蒲島郁夫知事と熊本市の幸山政史市長は9日、同市の陳菊市長と経済交流に関する覚書に調印した。貿易や投資の促進、観光、教育分野の相互関係の強化を目的とした覚書に調印した。貿易や投資の促進、観光、教育分野の相互関係の強化を目的とした覚書に調印した。貿易や投資の促進、観光、教育分野の相互関係の強化を目的とした覚書に調印した。



蒲島知事と幸山市長は9日、同市の陳菊市長と経済交流に関する覚書に調印した。貿易や投資の促進、観光、教育分野の相互関係の強化を目的とした覚書に調印した。貿易や投資の促進、観光、教育分野の相互関係の強化を目的とした覚書に調印した。

幸山市長も「覚書締結を得た。くまもんの活躍が、経済的交流で3者が結びたい」と述べ、それと「熊本市は九州のど真ん中であり航空需要は大いさ。定期路線開設に向けて県民挙げて努力したい」と訴えた。

蒲島知事は「熊本市は九州のど真ん中であり航空需要は大いさ。定期路線開設に向けて県民挙げて努力したい」と訴えた。

10日は知事が現地航空会社を訪れ、新規路線開設を働き掛ける。

▲9.10熊日

一台湾・高雄市と経済交流一

9月8日から10日までの3日間、県議団を代表して「台湾・高雄市との国際交流促進覚書締結に伴う訪問団」として参加させて頂きました。台湾は、親日で知られており、今回の訪問でも行政・民間問わず非常に友好的な対応で迎えて頂きました。

こうした関係からか、日本に訪れる台湾観光客は非常に多く、その影響は、我が熊本県にも表れ、多くの台湾の方が観光にきて頂いております。今回の訪問は、この機運を更に高めるため、知事と一緒に経済交流や台湾・高雄市・熊本の定期運航を促進するための訪問でした。熊本の魅力を国外にも更に推進して参りたいと決意して帰って来ました。

台湾・高雄市ー熊本定期路線 知事、運航社に開設要望!!

台湾を訪れている蒲談した。孫氏は熊本空島都天知事は10日、高雄への定期路線開設に雄ー熊本の連続チャーター便を運航しているタイバーエアライン(台北市)本社を訪れ、孫洪祥会長兼社長と会い、一定の日本人の利用が見込めれば、具体的な検討に入りたい」と意欲を示した。

蒲島知事は「熊本市は九州のど真ん中であり航空需要は大いさ。定期路線開設に向けて県民挙げて努力したい」と訴えた。

10日は知事が現地航空会社を訪れ、新規路線開設を働き掛ける。

▲9.11熊日

「熊本市は九州のど真ん中であり航空需要は大いさ。定期路線開設に向けて県民挙げて努力したい」と訴えた。

蒲島知事は「熊本市は九州のど真ん中であり航空需要は大いさ。定期路線開設に向けて県民挙げて努力したい」と訴えた。

10日は知事が現地航空会社を訪れ、新規路線開設を働き掛ける。

▲9.11熊日

